

●第82回日本生理学会大会報告

日本生理学会仙台大会

大会長：丹治 順（東北大学大学院医学研究科）

副大会長：丸山芳夫（東北大学大学院医学研究科）

会期：2005年5月18, 19, 20日

場所：仙台国際センター

仙台での大会は第3回大会（大正13年、藤田，佐武当番幹事），第23回大会（昭和21年、佐武，本川当番幹事），第53回大会（昭和51年、鈴木，青木，中浜，田崎，星当番幹事）以来4度目，30年振りとなりました。大会開催を引き受けるに当り，当番幹事という名称に代わり，本大会より大会長・副大会長を用いることとなりました。第3回仙台大会の演題数107という記録があり，今回の総演題数866（内訳：特別講演2，記念講演4，ランチョンセミナー4，シンポ口演199，ポスター657）と比べると隔世の感があります。2009年京都国際生理学会（XXXVI International Congress of Physiological Sciences：Kyoto）の開催をひかえ，大会講演の英語化，地方会の活性化等の要請もあり，また，国立大学の運営が大きく変化した年でもありました。

会期は5月という変則日程に従いました。San Diegoでの国際生理学会（XXXV International Congress of Physiological Sciences）が3月に開催され，それとの重複を避けたためです。5月の仙台大会は新緑の芽生えのなか，無事終了の運びとなりました。

今大会運営を振り返り，主項目を簡単に報告致します。

1. 大会参加者数

事前登録者数：1,188名

当日参加者数：307名

その他（非会員シンポジスト等）：126名

参加者総数：1,621名

（参加者総数は例年のレベルに達していまし

た）。

2. 発表演題数

特別講演：2題

記念講演：4題

シンポジウム：199題（45タイトル）

ポスター：657題

ランチョンセミナー：4題

合計：866題

3. 大会参加費

参加費にはIUPS関連シンポジウムのための経費分（1,000円）を含め，正会員10,000円（事前登録），非会員12,000円（事前登録）としました。また，学生会員については大学院生と学部学生の参加費をそれぞれ3,000円，1,000円としました。非会員の講演者とシンポジストについては参加費を無料としました。

4. 大会経費

収入 27,583,000円

（内訳）参加費12,473,000円，大会収入（機器展示・広告・ランチョン等）10,670,000円，生理学会助成1,000,000円，寄附及び自治体・財団助成等3,440,000円

支出 27,583,000円

（内訳）会場費6,554,872円，運営費（会場設営費・機材・人件費・会議・通信・等）16,120,634円，IUPS関連シンポ996,800円（正生理学会員会費の10%：生理学会へ返金），SCCR返金500,000円，余剰金3,410,694円（内訳：生理学会IUPSに3,000,000

円寄附および生理学会へ410,694円寄付), 生理学会
へ寄付

以上, 大会開催に際し, 様々にご援助頂いた関
連企業, 個人, 生理学会会員の皆様に厚く御礼申
し上げます.